



2023年2月7日

各 位

会社名 日本電波工業株式会社
 代表者名 代表取締役執行役員社長 加藤 啓美
 (コード番号 6779 東証プライム)
 問合せ先 取締役常務執行役員管理本部長 竹 内 謙
 (TEL. 03-5453-6711)

2023年3月期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2022年9月22日に公表した2023年3月期通期の業績予想について、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2023年3月期通期連結業績予想の修正(2022年4月1日~2023年3月31日)

	売上高	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当 たり当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	54,000	8,000	7,500	6,100	6,100	265.15
今回修正予想(B)	52,100	7,600	6,700	5,700	5,700	247.77
増減額(B-A)	△1,900	△400	△800	△400	△400	
増減率(%)	△3.5%	△5.0%	△10.7%	△6.6%	△6.6%	
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	45,408	5,180	4,920	5,455	5,455	278.01

(修正の理由)

売上高は、自動車市場において半導体不足が長期化したことに伴い、Tier 1メーカー(完成車メーカーに部品を供給するメーカー)の一部において在庫調整が進み、下期の車載向け販売が予想を下回る見通しとなりました。また、移動体通信向けでは、2022年11月に河南省鄭州市ロックダウンの影響を受け、スマートフォンの世界的な受託生産を担うEMSメーカーの主力工場において稼働率が大きく低下したこと、及びスマートフォン需要が想定より低下する見通しとなったことにより、移動体通信向けの販売も予想を下回る見通しとなりました。さらに第4四半期の対米ドル平均為替レートを135円から125円へ円高方向に見直した結果、通期売上高は2022年9月22日に公表した予想を下回る見通しとなりました。

利益につきましては、2021年12月に豪雨により浸水した当社マレーシア工場において2023年3月期第2四半期及び第3四半期にそれぞれ保険金として約4億円、約9億円を受領したことにより、受取保険金約13億円をその他の営業利益に計上しましたが、この災害により約3億円の損失をその他の営業費用に計上したこともあり、減収に伴う減益影響を補うことができない見通しとなりました。

以上により、通期の営業利益、税引前利益、親会社の所有者に帰属する当期利益とも2022年9月22日に公表した予想を下回る見通しとなりました。

(注) 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

以 上